

立命館小学校の平和教育

糸井 登

(立命館小学校教諭)

1. はじめに

本校では、「立命科」の授業を中心にして全校をあげて平和学習に取り組んでいます。

「立命科」の授業は、公立小学校でいうところの「道徳」と重なる部分もありますが、立命館小学校では独自のカリキュラムを作成し、以下のように位置づけています。2009年に刊行された『まるごと立命館小メソッド～発見・創造、基礎基本～』（学時出版）の中にはこのように書かれています。

主体的に学び続ける意欲と豊かに強く生きるための知恵を学び、世界の平和と幸福に貢献できる人間としての基盤を立命科で培う。立命館小学校の4つの柱「確かな学力形成」「高い倫理観と自立心を養う」「豊かな感性を育む」「真の国際人を育てる」を総合的に或いは各教科を横断的に統括し、系統的に指導していくものとして「立命科」を位置づける。

また、高い倫理観と自立心を養うことをねらいとして、共感的な人間関係作りを目指す。

自らを問い続け、自らを見つめ、命を輝かせて、将来的に地球環境や国際平和、地域社会に貢献する創造的リーダーとなって活躍する姿を求めて始動に当たる。

この本が出版されてから、9年がたった今、いろんな修正を加えながらも、「学んだ子どもが世界を変える」をキャッチフレーズに授業を行っています。

2. 立命科における平和教育

(1) 1年生の「平和教育」

以下、具体的な授業をいくつか紹介してみます。まずは、1年生の授業です。

1年生の平和教育の授業名は「へいわって、どんなこと」です。ねらいは、「平和について考え、生きる喜びを実感し、平和を大切にしようとする心を育てる」です。

低学年の平和教育では、絵本を用いることが多いです。ここでは、中川ひろたか（文）・長谷川義史（絵）『8月6日のこと』（河出書房新社、2011年）と安里有



表 1年生の学習過程

学習活動	指導の留意点
1. 平和とは何か、思いつくことを発表する。 「平和」を辞書で調べる。 「平和」とはどういう意味だろう	
2. 『8月6日のこと』を読んで、日本でも戦争があったことを知る。 わかったことや感じたことをワークシートに書く。	読み聞かせるだけでなく、1ページずつ分担読みをさせてもよい。
3. 感じたことを交流する。 ワークシートにかいたことを発表し合う。	
4. 教師の話聞く。または、絵本『へいわってすてきだね』を読む。	沖縄全戦没者追悼式で朗読された小学1年生の安里有生さんの詩を紹介する。

(詩)・長谷川義史 (画)『へいわってすてきだね』(ブロンズ新社、2014年)という二冊の絵本を活用しています。なお、後者の絵本は、2013年に沖縄全戦没者追悼式で朗読された小学1年生の安里有生さんの詩をもとにつくられた絵本です。

立命科の授業では、多くの場合、ワークシートを使用し、書くことで自分自身の変容に気づかせたり、感想交流の活性化を図るようにしています。また、ワークシートに書いていくことで、自分の考えてきたことを振り返ることができるようになります。

(2) 4年生の平和教育

4年生の平和教育は『アニメ版 はとよひろしまの空を』(東映)です。大川悦生氏による絵本をもとに作成されたアニメビデオ教材を使っています。この作品では、原爆が落とされた直後の広島を、飼い主の少年をさがして必至にとぶ一羽のはとの姿を通して、平和への願いが訴えられています。

授業終了後、4年生の子どもたちが書いた感想をいくつか紹介します。

たった1個のばくだんで一しゅんにして多くの人の命を奪った戦争のことについて学びました。「世界を平和にしたい」ではなく、まず身近なところから平和にしたいです。ドキッと一番したところは「ミチル号の子孫がどこかにいるかもしれない」ということです。

今まで生きてることが当たり前とっていたけれど、戦争でまだ小さな子どもやまだまだ生きられる大人が亡くなって本当は当たり前ではないのだ。だから、すぐにけんかを起こさず、小さな平和から創り出そうと思います。

アニメには子どもたちを惹きつける力があります。いろんな教材を揃え、子どもたちの実態に応じたアニメを使うようにしています。

(3) 5年生の平和教育

高学年の平和教育は、ノンフィクションの教材を使って、考えていく授業を実施しています。とりわけ、5年生では平和教育を踏まえて、実際に広島を訪れることになるため、時間をかけて取り組んでいます。

今年度の授業では、まず、一枚の写真(写真1)を見せることからスタートしました。



写真1 広島平和記念資料館にあるオバマ元アメリカ大統領が作った折り鶴

この写真を見せながら、こんな風に話していきます。「みなさんが宿泊体験学習で行く、広島平和記念資料館に2羽の折り鶴が展示されています。これは、2016年、アメリカ大統領として初めて広島を訪ねたオバマ大統領が折った折り鶴です。オバマ大統領は、核兵器を使用したことがある唯一の核保有国として行動する道義的責任があるとして、米国の先頭に立ち、核兵器のない世界の平和と安全を追求する決意を明言しました(プラハ演説)。そして、広島にやってきたのです。被爆者の方とも、対話をしました。その時に、この折り鶴は、広島市に贈られました」

「みんなの先輩も今までの宿泊体験学習で広島を訪れたときに折り鶴を贈っています」

「なぜ、オバマ大統領は折り鶴を広島市に残したのでしょうか？ 私たちの先輩方は、どうして折り鶴をつくって、広島に持って行くのでしょうか？ 折り鶴には、どんな願いが込められているのでしょうか？」

授業では、ここから佐々木禎子さんの話へと移っていきます。被爆してしまった禎子さんは、治りたいという思いから、鶴を折り続けます。しかし、禎子さんの願いはかなわず、家族が見守る中、亡くなりました。

「禎子さんと同じ小学校に通っていた同級生は、友達の死に大きなショックを受けました。そして、自分たちで禎子さんのためにできることはないかと思い、お墓か記念碑を建てられないかと考えました。そんな時、禎子さんをはじめ原爆で亡くなったすべての子供の霊を慰めるための記念の像をつくらないかという話を持ちかけられ、賛成し運動を始めます。同級生たちの素朴な思いから始まった運動は、やがて市内の小学校・中学校・高等学校を巻き込んだ大きな運動に発展しました。像建立の運動から2年半後の1958年、多くの人々の願いが込められた「原爆の子の像」が完成したのです」

授業後の子どもたちの感想です。

禎子さんは自分の病気を治したいという強い思いを持って鶴を折りました。その思いが今でも受け継がれ、原爆の子の像が建てられ、その周りにたくさんの鶴があることに驚きました。今後、戦争などの争いがなくなり、禎子さんなどの人の思いが受け継がれ、平和になるように願いを込めて折りたいです。

禎子さんの話から、早く治したいという気持ちがすごく伝わってきました。一カ月で千羽を折るほど、治したいという気持ちが強かったのでしょうか。もう、どの国でも戦争が起らないようにと願いを込めて折る。禎子さんのこともあるけれど、約14万人もの亡くなった人のためにも折り鶴を折りたい。

（４） 6年生の平和学習

6年生の平和学習は、歴史学習で学んだことを基盤に考えていくような授業を設定しています。たとえば、昨年度は、歴史学習のまとめとして、以下のような授業を行ってみました。

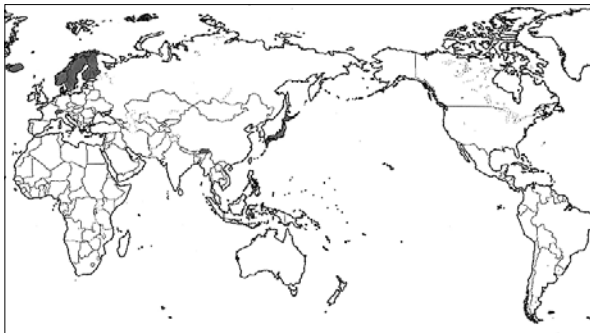


図 世界地図（著者作成）

ほんの少しの国だけを赤く塗った世界地図を子どもたちに見せ、「この地図は何を表しているでしょう？」と問いました。

いろんな意見が出されていく中で、どうやら戦争に関係しているのではないかと子どもたちは気づいていきます。

「赤く塗った国は、第二次世界大戦後、戦争に加わっていない国。戦争をしていない国を表しています」と告げると、子どもたちの中から驚きの声が上がりました。

この後、子どもたちに自ら問いを作り調べていく展開をとっていきました。子どもたちからは、次のような問いが出ました。

- ・多くの国が再び戦争を始めた理由は何か？

- ・国際連合はどのような動きをしているのか？
- ・日本はどうやって戦争を回避してきたのか？

これらの課題について調べていく中で、平和を維持していくことの難しさ、大切さを学んでいきました。

6年生では、自ら課題を考え、調べていくような形態を大切にしながら取り組んでいます。

3. 社会見学の中の平和学習

本校では、5年生の子どもたちが広島平和記念資料館を訪れることにしています。今まで立命科の授業で培ってきた平和への思いを胸に、学習を深めていきます。子どもたちにとって、戦争の恐ろしさ、悲惨さ、そして、平和の大切さを再確認できる大切な時間となっています。

この時に、実際に原爆の子の像を見て、立命科の授業で自分たちがつくった折り鶴を置いてくるようにしています。毎回、授業後には、「自分たちも鶴を折りたい」という声が子どもたちの中からあがり、この日に合わせて完成させるようにしているのです。



写真2 子供たちの作った折り鶴

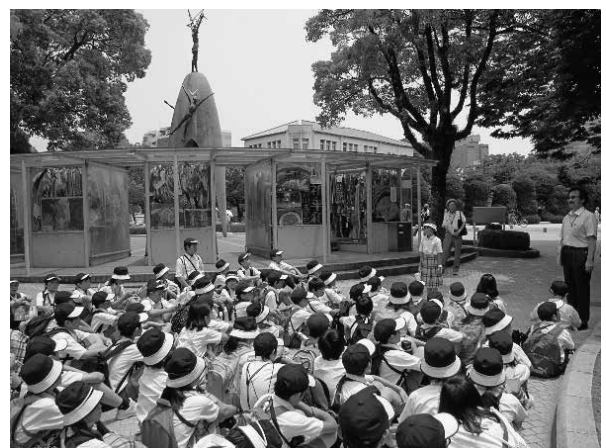


写真3 2017年度の宿泊体験学習の様子

そして、もう一つの社会見学として挙げられるのが、立命館大学国際平和ミュージアムへの見学です。残念なことに、ここ数年は、見学する学年が固定せず、平和学習との連動という面での弱さがありました。

本来、戦争の事実を学びながら、平和について考える社会見学にしていくのが効果的はずです。そこで、今年度からは6年生の児童を対象に、3月の時期に歴史学習の総まとめとして位置付けていくようにしていくことになっています。

4. おわりに

立命館小学校では、2006年の開校以来、平和教育に関して言えば、試行錯誤しながら取り組んできたというのが実態です。しかし、ここ数年、立命科の中での平和教育の内容が精選したものとなり、社会科見学についても一定の整理が進んできました。今後も、子どもたちの姿を大切にしながら、更によりよいものにしていきたいと考えています。